

1. 基本事項

事務事業名	水産振興支援事業			事務事業コード	113-104-41
総合計画	基本目標	1	いきいきと働き、活力とにぎわいのあるまち	担当課	農林課
	政策名	1	農業所得の向上を目指し、やりがいのある農林業を確立する	担当者	柴崎 紀明
	施策名	3	活力ある農村環境づくり	内線	262
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	6款1項3目	水産振興支援事業費 0014	予算コード	01-060103-1400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度                      事業年度 平成      年度				
	<input type="radio"/> 期間限定                      始期      年度    ~    終期      年度				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続)      開始年度 平成      年度~				

2. 事務事業の概要

目的	有用水族を放流し、内水面水産の振興を図る。	事業内容	主な放流先は、泉田川、新田川、升形川。稚魚購入、輸送、放流事業に係る経費のうち1/5以内の額(上限15万円)を市補助金として交付。財源内訳は県総合交付金が1/4、市の一般財源が3/4。		
対象	最北中部漁業協同組合				
目指す状態	稚魚放流により、個体数が維持され、内水面の生態系のバランスを保持できる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 (                      )		

3. 実施状況

活動指標	指標名称	最北中部漁業協同組合の放流事業費(千円)	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27目標	
			実績	791	675	729	685	824	850		
説明(算式等)	達成率		93.1%	79.4%	85.6%	80.6%	96.9%				
成果指標	指標名称	放流魚数(匹)	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27目標	
			実績	39,166	24,300	30,300	29,300	35,300	56,000		
説明(算式等)	達成率		69.9%	43.4%	54.1%	52.3%	63.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	魚種と放流場所										
		魚種	放流場所	数量							
		あゆ	新田川、升形川、泉田川	80kg							
		やまめ	休場、土内、戸前川	13,000尾							
		にじます	朴沢、指首野川	2,500尾			事業費				
		ふな	山屋堤、升形川	30kg			放流魚購入費	684,000円			
		いわな	土内、朴沢	9,000尾			放流経費	140,000円			
	モクスガニ	升形川、新田川、最上川	300尾								
成果(どのような状態になったか)	淡水魚の放流により、水産業の振興が図られた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	事業費の算出根拠(H25)	
事業費 … ①	100	100	100	100	100	100	歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						山形県市町村総合交付金	
	県支出金	25	25	25	25	25	25	
	地方債							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	75	75	75	75	75	75	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,181	589	504	247	233	233	淡水魚増殖事業費補助金	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.07	0.06	0.03	0.03	100	
	1人当たり単価	8,437	8,418	8,393	8,232	7,783	7,783	
費用合計(①+②)	1,281	689	604	347	333	333		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 自己評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	淡水魚の個体数減少が緩和され、市民の憩いの場としての釣り場の確保が図られた。
	②市が税金を投入して行う必要があるか	● 妥当である ○ 見直しの余地がある	水産資源の保護の観点から、淡水魚の保護及び増殖への積極的な取組みに対する補助事業である。
	③対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	水産資源の保護の観点からみて、適切である。
有効性	④成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	個体数の維持だけでなく増殖といった視点から、より一層の活動支援が必要と考えられる。
	⑤廃止・休止した場合の影響があるか	● 影響がある ○ 影響がない	水産業の振興を図るためには、継続した支援が必要と考えられる。
	⑥類似事業と統廃合・連携できないか	● 統廃合・連携できない ○ 統廃合・連携できる	水産業の放流事業は他では実施していない。
効率性	⑦成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業費の多くが放流魚購入費、輸送費、放流費となっており、削減は難しく、より一層の事業拡大のためには、補助金の上限額(15万円)の予算確保が必要である。
	⑧人件費の削減余地はないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	本事業を推進する上で最低限必要な人件費となっており、削減は難しい。
	⑨実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	県内水面漁場管理委員会の指示により、適切な数量の放流を実施した。

6. 上記評価で出された課題

前回の評価(H24実績評価)	今回の評価(H25実績評価)
個体数維持のために、放流後の経過観察が必要である。	個体数の維持だけでなく増殖といった視点から、より一層の活動支援が必要であるが、事業を拡大するための必要経費に対する財源が不足している。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

漁協と打ち合わせ、要望などを聴取しながら最大の効果を発揮するよう進めている。
----------------------------------------

7. 上記課題に対する改善方法

前回の評価(H24実績評価)	今回の評価(H25実績評価)
必要に応じて外来魚駆除を実施する。	ここ数年間の本事業に係る補助金額は10万円となっているが、補助金交付規程上は上限額が15万円であるため、財源不足という課題解決に向けた予算措置が必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価(H24実績評価)		今回の評価(H25実績評価)	
所属長評価	稚魚放流事業は淡水魚の増殖のために有効な手段であり、補助金は放流のための輸送代、人件費、酸素代に充てられており、今後も継続すべき事業である。	所属長評価	当組合は、各魚種の稚魚を購入し、市内河川に定期的な放流活動を行っており、各魚種の個体数維持に貢献している。放流魚購入費や輸送費、放流経費が嵩む中、淡水魚増殖事業費補助金交付規程では、対象事業費の5分の1以内(15万円を上限)の額で交付すると定めにあることから、規程に基づき交付すべきである。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等				
<input type="checkbox"/> 現行					
<input type="checkbox"/> 拡大					
<input type="checkbox"/> 縮小					
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保	
<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 類似事業等がある ( )				
<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 調整事項あり		<input type="checkbox"/> 財源が不足
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 税金投入が不適当	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない		<input type="checkbox"/> 効果が薄い
総合意見					